

(別紙)

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について (全5基)

(英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値)

項 目		合 格 基 準	結 果				
			1 基目	2 基目	3 基目	4 基目	5 基目
			S12B130* ¹ 28 体用	S9B130* ¹ 28 体用	S10B130* ¹ 28 体用	S1B130* ¹ 28 体用	S5B130* ¹ 20 体用
の放射 表面 密度 物質	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm ² を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm ² を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
線量 当量 率	輸送容器表面	2mSv/hを 超えないこと	0.596 mSv/h	0.394 mSv/h	0.344 mSv/h	0.503 mSv/h	0.238 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/hを 超えないこと	0.067 mSv/h	0.058 mSv/h	0.047 mSv/h	0.048 mSv/h	0.034 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度)* ²		85℃を 超えないこと	54.7℃	52.6℃	53.1℃	50.6℃	45.4℃
気密漏えい (容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部)		1.33×10 ⁻³ MPa・cm ³ /s を超えないこと	4.55×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	2.97×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	3.73×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	4.32×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s	1.10×10 ⁻⁴ MPa・cm ³ /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	19.964kPa (設定値以下)	19.768kPa (設定値以下)	19.846kPa (設定値以下)	19.905kPa (設定値以下)	44.938kPa (設定値以下)

注) *1 : 承認容器登録番号

*2 : 周囲温度 38℃条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38^\circ\text{C}$$

N. D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[\begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : \underline{0.01\text{Bq/cm}^2} \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : \underline{0.06\text{Bq/cm}^2} \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力 (放射性物質の量) を表す単位
(1秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位